

令和5年度(令和6年度実施)事務事業評価

事業整理番号 0701 - 08

事務事業名	がん検診事業	担当組織	健康部	地域保健課
-------	--------	------	-----	-------

事業特性										
事業を構成する予算事業	事業開始年度	30年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画	計画事業No.	3	—	3
	単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	全部業務委託	関連するSDGsゴール	3	17			
	① 胃がん検診経費	② 肺がん検診経費								
	③ 大腸がん検診経費	④ 子宮頸がん検診経費								
	⑤ 乳がん検診経費	⑥ 前立腺がん検診経費／がん検診受診勧奨関係経費								

政策体系(令和5年度基本計画)										
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち				政策	健康な生活の維持・増進				
施策	がん・生活習慣病対策等の推進				政策番号	3-3-1				
関連する個別計画	①豊島区健康プラン ②豊島区がん対策推進計画(第3次)				計画策定年度	①6年度 ②3年度	計画期間	①6年間 ②5年間		

1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象(具体的に記載)	胃がん検診(40歳代と50歳以上奇数年齢は胃部X線、50歳以上偶数年齢は胃内視鏡、胃部X線のどちらか選択)肺がん検診(40歳以上)、大腸がん検診(30歳以上)、子宮頸がん検診(20歳以上偶数年齢女性)、乳がん検診(40歳以上偶数年齢女性)、前立腺がん検診(50歳～74歳偶数年齢男性)、胃がんリスク評価(ピロリ菌抗体検査20～39歳 ABC検査40、50歳)、子宮頸がん併用HPV検査対象者(30、36、40歳)									
(2)事業の目的・期待する効果	定期的ながん検診をより多くの区民に受診していただき、各種がんの早期発見、早期治療につなげる。健康な区民を増やし、ひいては区民の健康寿命の延伸につなげる。									
(3)事業概要	区民を対象として、国指針に基づく胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの5がん検診と、区独自として、前立腺がん、胃がんリスク評価(20、30歳:ピロリ菌抗体検査、40、50歳:ABC検査)のほか、30、36、40歳には子宮頸がん併用のHPV検査を実施、79歳以下の対象者全員に5がん検診受診チケットの送付をする等、がん検診の普及啓発・受診勧奨を行っている。									
(4)目標の達成状況	5年度の取組内容 5年度に実施した具体的な業務内容	・5がん検診受診チケット(79歳以下の対象年齢全員あて)を送付 5がんチケット(33,761通)、3がんチケット(104,817通)、1がんチケット(22,900通) ・各がん検診受診者数:胃がん検診(胸部X線)4,322人、胃がん検診(内視鏡)6,518人、肺がん検診12,609人、大腸がん検診14,048人、子宮頸がん検診9,692人、乳がん検診6,910人、前立腺がん検診2,561人、胃がんリスク評価(ピロリ菌抗体検査695人、ABC検査1,144人)								
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)	5年度(実績)	(達成率)	6年度(計画値)	
		① がんを主要要因とする死亡割合(人口10万対)	↘	10万対	217.6	215.0	215.5	99.8		
		② がん検診総受診者数	↗	人	55,155	62,544	58,499	93.5	61,950	
		③								
(5)取組実績	指標の説明	①人口動態報告でのがんを主要要因とした豊島区内で死亡した者の割合(各年度実績は前年度確定値) ②がん検診事業年間総受診数(各種がん検診受診延べ数)								
	達成状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	がん検診受診者のうち、胃がん検診(内視鏡)、子宮頸がん検診、乳がん検診については順調に増加しているものの、胃がん検診(バリウム)、大腸がん検診						
	活動指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)	5年度(実績)	(達成率)	6年度(計画値)		
	① がん検診受診率	↗	%	21.5	22.5	22.0	97.8	23.1		
	② がん検診勧奨通知発送回数	→	回	4	4	4	100.0	4		
	③									
	指標の説明	①国の指針である5がん(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん)の受診率の平均値 ②受診券(4月:5がん検診、7月:胃がんリスク評価)、受診勧奨通知(秋:転入者、個別がん検診勧奨)の発送回数								
	達成状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位		4年度		5年度			6年度	
(金額の項目:千円 人数の項目:人)		予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R5決算比)
事業費	A	678,493	608,541	684,569	652,540	95.3%	666,928	14,388
国、都支出金	B	16,431	11,511	15,359	12,100		13,195	1,095
使用料・手数料		0	0	0	0			0
地方債・その他		0	0	0	0			0
一般財源	C=A-B	—	597,030	—	640,440		653,733	13,293
正規職員人数※小数点第1位まで		2.0	名	2.0	名		2.0	名
会計年度人数※小数点第1位まで		0.0	名	0.0	名		0.0	名

3. 総合評価及び令和6年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和5年度成果と課題	【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価	B	根拠	胃(内視鏡)、肺(CT)は右肩上がり、子宮頸、乳は、再勧奨もあり15%以上の受診者増となったものの、一部検診で減少しているため。																																										
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。																																													
①目標に対する成果状況を踏まえた課題 内視鏡やCT、マンモグラフィ等の画像診断を行うがん検診は順調に受診者を伸ばし、予算執行率も高い。画像診断では医師の二重読影が必須であり、読影件数も右肩上がりとなっているため、システム導入等で時間短縮の検討が必要である。																																														
②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果) 比較的受診が落ち着く11月にはがきによる受診勧奨を実施。それをきっかけとした受診申し込みが増加。(一例)子宮頸がん検診:12月1,322件⇒1,983件、乳がん検診:12月924件⇒11月1,350件(ともに1.5倍)																																														
(2)業務(事務)改善にむけての取り組み	【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	胃がん内視鏡検診相互読影のためのクラウドシステム利用の改善																																										
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。																																													
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲) 内視鏡やCT、マンモグラフィ等の画像診断を行うがん検診は順調に受診者を伸ばし、予算執行率も高い。画像診断では医師の二重読影が必須であり、読影件数も右肩上がりとなっているため、システム導入等で時間短縮の検討が必要である。																																													
	②現状の実施状況における所管課の認識																																													
	<table border="1"> <tr> <td>事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。</td> <td>有</td> <td>選択した理由</td> <td>検診実施から結果通知まで時間を要する検診もあり、クラウドシステム等を活用した相互読影などシステム化で時間短縮を検討する必要がある</td> </tr> <tr> <td>直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。</td> <td>有</td> <td>選択した理由</td> <td>検診事業について、広く区内医療機関を代表し委託契約が可能な豊島区医師会に委託している</td> </tr> <tr> <td>サービスに係るコストは適正か</td> <td>適正</td> <td>選択した理由</td> <td>診療報酬に基づき委託料を決定しており、コストについては適正である</td> </tr> <tr> <td>統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。</td> <td>無</td> <td>(有の場合)事業名</td> <td></td> </tr> </table>				事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	有	選択した理由	検診実施から結果通知まで時間を要する検診もあり、クラウドシステム等を活用した相互読影などシステム化で時間短縮を検討する必要がある	直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択した理由	検診事業について、広く区内医療機関を代表し委託契約が可能な豊島区医師会に委託している	サービスに係るコストは適正か	適正	選択した理由	診療報酬に基づき委託料を決定しており、コストについては適正である	統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																											
事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	有	選択した理由	検診実施から結果通知まで時間を要する検診もあり、クラウドシステム等を活用した相互読影などシステム化で時間短縮を検討する必要がある																																											
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択した理由	検診事業について、広く区内医療機関を代表し委託契約が可能な豊島区医師会に委託している																																											
サービスに係るコストは適正か	適正	選択した理由	診療報酬に基づき委託料を決定しており、コストについては適正である																																											
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																																												
③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況																																														
<table border="1"> <tr> <td>対応、改善を既に行った</td> <td>はい</td> <td>はい</td> <td>取組内容及び効果</td> <td>胃がん内視鏡検診相互読影のためのクラウドシステム利用</td> <td>予算措置</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td colspan="7">はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)</td> </tr> <tr> <td>対応、改善の予定</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>対応、改善の予定がない理由</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>対応、改善の内容</td> <td colspan="3">胃がん内視鏡システムの各医療機関配置PCのレンタル</td> <td>予定時期</td> <td>7年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>予算措置</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>予算措置を伴わない実施との比較検討</td> <td>無</td> <td>予算措置を伴う理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">委託先(医師会)の要望</td> </tr> </table>					対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	胃がん内視鏡検診相互読影のためのクラウドシステム利用	予算措置	有	はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)							対応、改善の予定	有	無	対応、改善の予定がない理由				有	対応、改善の内容	胃がん内視鏡システムの各医療機関配置PCのレンタル			予定時期	7年度		予算措置	有	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	無	予算措置を伴う理由					委託先(医師会)の要望		
対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	胃がん内視鏡検診相互読影のためのクラウドシステム利用	予算措置	有																																								
はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)																																														
対応、改善の予定	有	無	対応、改善の予定がない理由																																											
有	対応、改善の内容	胃がん内視鏡システムの各医療機関配置PCのレンタル			予定時期	7年度																																								
	予算措置	有	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	無	予算措置を伴う理由																																								
				委託先(医師会)の要望																																										
(3)必要性/優先度	【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	健康増進法の法定事業であること、区が実施する対策型検診受診者の増加により早期発見・治療が進み、結果的に区民のがんによる死亡者数を減らすことが期待できるため、重要な施策である。																																										
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。																																													
	①区が実施する理由(複数選択可)																																													
	<table border="1"> <tr> <td> ☐ 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック </td> <td> ☐ 法律の要請を受けて行う事業である。 </td> </tr> <tr> <td> ☐ 民間事業者等に同様のサービスがない。 </td> <td> ☐ その他(理由) </td> </tr> </table>				☐ 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	☐ 法律の要請を受けて行う事業である。	☐ 民間事業者等に同様のサービスがない。	☐ その他(理由)																																						
	☐ 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	☐ 法律の要請を受けて行う事業である。																																												
☐ 民間事業者等に同様のサービスがない。	☐ その他(理由)																																													
②区民ニーズ																																														
<table border="1"> <tr> <td>区民ニーズを表す指標</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>指標番号(成果)</td> <td>②</td> <td>指標番号(活動)</td> <td>①</td> <td>サービス利用者数</td> <td>50名以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推移</td> <td>↗</td> <td>推移</td> <td>↗</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">有・無どちらも</td> </tr> <tr> <td>区民ニーズに対する認識</td> <td colspan="8"> 特に、胃がん検診(内視鏡)、肺がん検診(CT)の受診者数が年々増加しており、区民の健康意識向上が伺え、今後もニーズが拡大すると見られる。 </td> </tr> </table>				区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(成果)	②	指標番号(活動)	①	サービス利用者数	50名以上				推移	↗	推移	↗			有・無どちらも									区民ニーズに対する認識	特に、胃がん検診(内視鏡)、肺がん検診(CT)の受診者数が年々増加しており、区民の健康意識向上が伺え、今後もニーズが拡大すると見られる。														
区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(成果)	②	指標番号(活動)	①	サービス利用者数	50名以上																																						
			推移	↗	推移	↗																																								
有・無どちらも																																														
区民ニーズに対する認識	特に、胃がん検診(内視鏡)、肺がん検診(CT)の受診者数が年々増加しており、区民の健康意識向上が伺え、今後もニーズが拡大すると見られる。																																													
総合評価(d)=a+b+c		ランク2																																												

4. 【前年度事務事業評価対象事業のみ】改善に向けた取組内容について			
(前年度事務事業評価表) 4「所管課の認識・R5年度以降の対応」を記載	—		
上記の改善に向けて取り組んだ内容を記載(未着手の場合には理由を記載)	—		
改善に向けた取組内容についての自己評価 (e)			根拠

5. 令和6年5月末時点の状況

①令和6年度当初の課題・ニーズ	- 胃がん検診(内視鏡検査)、肺がん検診(CT検査)については、受診者数が増加の一途にあり、当初予算では不足に陥る可能性がある。 - 女性のがん予防に向け、乳がん検診(視触診とマンモグラフィの同時検査)と胃・肺の同時がん検診を組み合わせた「乳がんプラス検診」を6月から月1回開始。初回定員10名のところ、216名もの申込があり、旺盛なニーズを示した。
②国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	国指針「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」において、HPV単独法による子宮頸がん検診の実施が規定された。現在区で実施している、HPV併用法による子宮頸がん検診については指針外の実施方法となるため、見直しの検討が必要がある。
③令和6年度の方向性・取組方針(事業展開)	- さらなる受診者増を図るため、5がん検診の事業開始を4月1日に統一した。 5がん検診チケットは、5年度までは受診可能な検診(5がんと3がん、1がん)で4月末と5月当初とで分割発送したが、6年度は4月末に一括発送とした。未着問い合わせ件数は大幅に減少している。 「乳がんプラス検診」を開始。
④令和6年度の事業進捗状況	4月1日(月)5がん検診開始 4月22日(月)5がん検診受診チケット一括発送(162,789通) 6月8日(土)乳がんプラス検診初回
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	- 胃がん検診(胸部X線)、乳がん検診(マンモグラフィ)の実施会場の拡大(現状:豊島健康診査センター1箇所のみ) - 乳がん検診1日制コース、乳がんプラス検診の定員拡大、実施回数増
⑥上記⑤に対する対応	- 乳がん検診(マンモグラフィ)の医療機関実施に向けた課題整理を医師会と実施予定 - 乳がんプラス検診初回実施結果を見て、年度内での定員拡大の可能性を医師会と協議

-----以降の項目は、評価内容を踏まえて管理職が記載してください-----

今後の事業費予算要望（f）	現状維持	根拠	現行予算規模を維持しつつ内容を改善
今後の事業の方向性（d+e+f） （現状の評価および施策評価を踏まえた評価）	B	※eは該当の事業のみ加味	
上記判断と今後の事業の方向性を踏まえ、令和6年6月以降の対応を記載（改善方法、課題への対応など）			
がん対策については、区として重点事業として取り組んできたが、国の指針以上に実施しているものもあるので、科学的根拠を持って対象や方法について精査する必要がある。一方で、「乳がんプラス」「胃がん内視鏡検診」など、需要が伸びているものもあり対応が必要である。また、早期予防のターゲット層である40～69歳のうち、特に4, 50代の受診率を上げていくため、積極的な受診勧奨に取り組んでいく。			